

異年齢保育

年齢の違う子どもたちが一緒に遊ぶことで社会性・協調性・協働性などが育ちます。また、子どもたちのダイナミックな学びにもつながります。

月組・たんぽぽ組で遊びました



一緒に遊ぶ中でやってあげる、やってもらうという関係が築きやすくなります。

年上の子は・・・年下の子を見守り、お世話をすることで自分に自信をもつようになる。

年下の子は・・・年上の子に憧れを抱き、真似をしようとする。

2歳児は基本的な生活習慣が確立し、小さな集団で、人との関わり方が育つ「一緒にやると楽しい」という経験を積むことで、次の大きな集団に向けての準備の時期です。



常に同年齢集団だと発達の幅が小さく、その中で特性を持った子が際立ってしまいますが、異年齢の集団になると、違うことが普通。異年齢保育では「違いを知る」ということを自然と理解できる環境が出来ます。年齢で子どもを判断することが少なくなるために子ども一人一人の多様性を認めることが出来やすくなります。これからも子ども同士の関係から生まれてくる学びを大切に子どもたちを見守っていきたいと思います。

学習能力の向上
年少児に伝える
ことで学んでいく

発達の保障

他者支援の育ち
思いやり・
援助の気持ち

他者理解・共感力
意見が言える・欲
求や興味への共感

体育まつりでは異年齢で競技に挑戦！
自然と役割ができていました

